

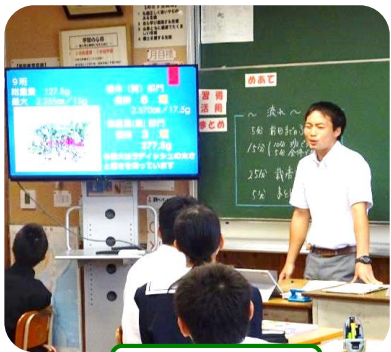
中学2年 技術・家庭科 (技術分野)

生物育成に関する技術 「ラディッシュの栽培経験を生かし、 ダイコンの育成計画を立てよう」

授業のポイント

- 前題材のラディッシュの栽培の経験を生かして、ダイコンの栽培計画を作成する。
- 「質がよく（長さ）、収穫量が多い（重さ）ダイコンを育てるための育成計画を作成する」という具体的な課題を設定することで、生徒の思考や話し合いの視点を絞り込ませることができる。

授業の流れ



導入

ラディッシュの栽培結果について数値で振り返り、その経験を生かし、目的に応じたダイコンの育成計画を作成することを確認する。



展開

- ① ラディッシュの栽培経験について、灌水・除草・間引き・施肥等、多面的に振り返りながら、ダイコンの栽培について意見を交換する。
- ② 実際の畑の大きさやダイコンの大きさを比較しながら、畝の数や幅、長さ、形状について検討する。



終末



全体での意見交換、班で話し合った内容や教師からの補足説明聞き、個人の考えをワークシートにまとめる。

指導項目

生物育成に関する技術 (2)

ア 目的とする生物の育成計画を立て、生物の栽培又は飼育ができること。

評価について

ラディッシュの栽培の経験を生かし、質がよくなるための工夫や収穫量が多くなるための工夫について考えることができているか、そのために適切な方法を選択しているかをワークシートを基に評価する。

学校教育目標

「人間力」の育成

- 学力・体力
- 自他を大切にする力
- 将来を展望する力
- 社会に貢献する力

本授業では、「自他を大切にする力」を育成するため、対話による課題解決学習に取り組む。

この活動を充実させるため以下の点について留意する。

- 教師が意図した3人グループを作成し、ラディッシュとダイコンの育成計画の作成と栽培を行う。
- 生徒の発言をもとに板書を作成したり、生徒の発表した言葉をもとに授業のまとめを行う。
- 生物育成に関するマイナスイメージを払拭させるため、収穫したラディッシュを視覚的・数値的に提示し、学びを実感させる。

目指す生徒の姿

- 自分の意見と他者の意見を比べながら、最適な解を見出そうとしている。
- 過去の自分の体験や考えを活用し、現在の課題解決に取り組んでいる。